

平成14年11月20日

畜産システム研究会・第16回総会のご案内

牛プリオン病(BSE)が発生して1年経過し、牛肉の需要や価格はほぼ回復してきましたが、飼料の安全性、疑似患畜の範囲、BSEの検査範囲、と畜および畜産副生物(レンダリング)の処理方法等、解決すべき問題が残されています。そこで、当研究会では「BSE問題とこれからの畜産システム」を課題としてシンポジウムを開催し、「BSEにより何が変わり、何が求められ、どう対応していくか」という現場の問題について考えていきたいと思えます。畜産に対する信頼構築は次世代に対する我々の責任でもあります。BSE問題について問題点を整理し、畜産関係者の間での理解を深めるとともに、BSE撲滅に畜産界がどう取り組んでいるのかを社会に説明していくことが大切だと考えています。今回は主として飼料問題に焦点をあてたシンポジウムを下記のとおり計画いたしましたのでご案内申し上げます。

テーマ 『BSE問題とこれからの畜産システム』

日時 平成14年11月30日(土) 10:00～17:00

場所 サンピア福山 福山市緑町9-7 TEL 0849-21-3131 http://www.kjp.or.jp/hp_78/

プログラム

基調講演

10:00～11:30 BSE問題の社会・経済・政治的背景 ヨーロッパの場合

星野中氏(金沢星稜大学教授, 大阪市立大学名誉教授)

11:30～12:00 畜産システム研究会第16回総会

13:00～13:40 英国におけるBSE発生と防除策に学ぶ

三谷克之輔氏(広島大学生物生産学部附属農場教授)

13:40～14:20 BSE対策としてのEUの牛用飼料製造ラインの分離状況ならびに
薬剤添加飼料の法規制と運用について

萬家照博氏(日本イーライリリー株式会社エランコアニマルヘルス事業部
飼料添加物チーム・チームリーダー)

14:20～15:20 日本におけるBSE発生と飼料の安全性

木村信熙氏(日本獣医畜産大学教授)

15:30～17:00 討論 『BSEにより何が変わり、何が求められ、どう対応していくか』

17:30～19:30 懇親会(会場:サンピア福山)

参加費: 無料, 懇親会費: 5,000円

申し込み締切り 11月25日(月)までにTEL, FAX, e-mailのいずれかでお申し込みください。

申込先 畜産システム研究会

〒739-0046 東広島市鏡山2-2965

広島大学生物生産学部附属農場(三谷)

TEL 0824-24-7973

FAX 0824-24-7898

e-mail kmitani@hiroshima-u.ac.jp